

生産性向上

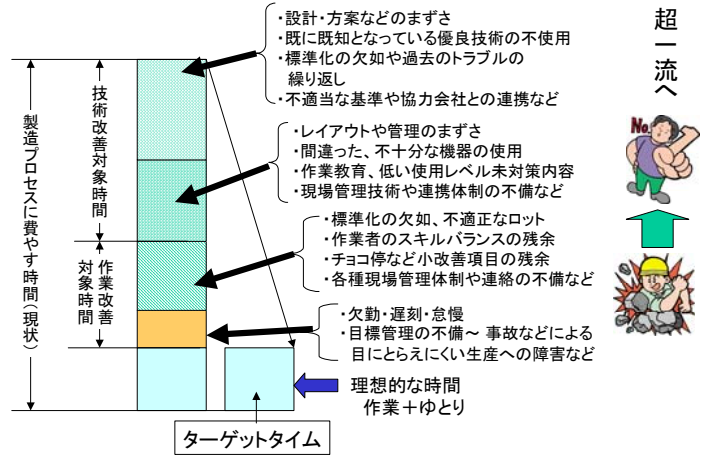
改善手法を総棚卸し～実務活用へ向けた
「ムダの見える化～徹底排除」スピード改善対策

乾いた雑巾？科学的にしぼれ！
IE+QC+VE・・・5S+JITの実務
な現場活用法を研修～現場で指導

解説：演習でムダ排除は実体験

- ① 理想－現状＝改善ギャップ
思想で徹底的にムダを抽出
- ② ビデオとITでムダの見える化
＋スピード診断法で総点検
- ③ 目に見難いムダを評価～
具体化対策へ

各種経営指標より探す原低直結改善の種
負荷山積み/能力分析よりアイデア30件/30分発掘法



【例】研修メニュー ご希望によって、ご相談後に、項目やウエイトを決定します。

- 1, 各種経営指標より探す原低直結型改善の種
経営数値から見つけた改善テーマを進めれば、改善金額の取得は確実！
では、その探し方は？発見する実力は？ 30分:30件/人発見力が世界標準！
- 2, 現場診断:「通り診断」「自己診断」による改善発掘法
1回の現場巡視で30件改善発掘、自己診断は現場の各種記録・データで
- 3, ワークサンプリング+VE改善方式によるスピード改善の実務
現場診断～改善は、ビデオ+IT利用とECRS改善法で
- 4, 不良・故障を出さない先手管理:QCのスピード活用
QTAT(Quick Turn around Time)＋ハインリッヒの原則利用で未然防止へ
- 5, スピード標準化対策 JIT標準で技術スピード伝承～問題発生予防に

紙と鉛筆、資料づくり
～討論式より30倍早い！

ムダ撮り

ムダ

ムダとは何か？
一流の仕事(理想)
－ 現実
改善ギャップ

ムダを撮る

ムダ取りへ改善追求の題材へ

改善結果(例)

改善内容は、最初、カタログ(A4の用紙)と説明書(B5)を簡単に集める案を実施(3名作業のイメージ)

机上へ広げて歩きながら歩く方式を移動無し、縦に積んだ、ケースから集める方式に変更

3名を1名に改善

更に、扇型に用紙を取り扱具を配置して、体を少し回転するだけで、全ての作業を可能にしたという構成測定すると、最初の状態の1/6以下の時間で全ての作業が1名で終了できる内容となった。